

“みんなでシェアして、課題を解決していくために。”

株式会社調和技研

#中小企業のDX促進を狙いとする特化型AIモデルのプラットフォーム開発

補助事業の経緯と成果

Story and Way

point 1 3つの事業展開

最先端のAIの研究開発成果を社会実装すること。もう1つはそれをプロダクト化することへの挑戦。3つ目として、札幌でのAI人材やAI開発企業の育成を柱とした教育事業の展開。地域への貢献は、北海道に育てていただいた企業という思いから。

point 2 誰でも使えるAI

「AIを使ってこういう事ができないか」という相談は多いが、1社でそれを作るとなるとコストの問題もあり、難しい場合も多い。少子高齢化や地域格差に直面する北海道だからこそ、みんなが活用できることが重要だと考えた。

point 3 機能限定による、わかりやすさ

インプットとアウトプットがわかりやすく、利用者に応じてカスタマイズ可能。浮世絵風変換モデルをインバウンド向け情報発信に活用するなど、アイデア次第で使い方は様々。観光やエンタメ業界、美容業界、そして一次産業での利用機会を低コストかつ簡単に創出できる。



Input



Output

浮世絵風変換モデル



物体カウントモデル

Result Point

成果

画像から体積や個数をカウントするAIモデル、品質判定や異物混入判定をするAIモデル、反射除去モデル、画像変換・生成系モデルといった8つのAIモデルを搭載したプラットフォームを開発。

Vision 代表取締役 中村 拓哉

“きっかけは昆布の産地での課題に触れたことです。良い商品になる昆布とそうじゃない昆布の見分けをAIを使ってできないかという話でした。でもそのノウハウは、全てそのベテランの漁師さんが持っていて、自分たちがいなくなったら誰も見分けることができない。そんな話が北海道は多いはずで、コストの問題を解決しながら、道内の中小企業に広げていく活動をしていきたいですね。”



About

2009年設立。最先端の研究成果を社会実装することを目的として、北大の調和系研究室から生まれたベンチャー企業。現在は人工知能の研究成果を活用しより社会を楽しくするような製品・サービスを開発。

株式会社調和技研

〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目2 北大ビジネスプリング 305号室

URL: <https://www.chowagiken.co.jp/>

